

武富節

本調子

工、六	四	老	四	合、老	四	老	四	中、尺	工	合	尺	工
でいちちやよー												
う												
し												
ち												

六	工、尺	中	四	老	四	中、尺	工	老	上	四	老	合
り												
ていあ												
たい												
ばなむい												
が												

六	四	六	七、六	四	合、老	四	老	四	中、尺	工	合	尺	工
はな													
や													
ち													
ゆ													
か													

六	工、尺	中	四	老	四	中、尺	工	老	上	四	老	合
み												
ていむ												
いや												
な												
ら												
ん												

六	四	六	七、六	四	合、老	四	老	四	中、尺	工	合	尺	工
へい													
や													
よー													
ぬ													
ひ													

六	工、尺	中	四	工、六	四	老	四	合	尺
や									
る									
が									
ひ									

一、でいちちやよ押連りてい

あたい花摘いが

花や露頂みてい 摘いやならん

(へイヤ ヨウヌ ヒヤルガヒー)

二、白瀬走川に 流りゆる桜

すてい思里に 貫ちやい佩きら

三、赤糸貫花や 里に打ち佩きてい

白糸貫花や ゆ得り童

四、赤糸貫花や 打ち佩きていさらみ

里が目笑れ口 拝み欲しやぬ

五、花ん貫ち 貯みてい

でいちちやよ立ち戻ら

里や我が宿に 待ちゆらでむぬ